

[ 大規模科学計算システム ]

## クラウドサービスAOBA-C用 バッチリクエストによるジョブの実行方法

情報部情報基盤課 共同研究支援係 共同利用支援係

### 1. はじめに

本稿は、以下資料「ジョブの実行方法」の付録として、クラウドサービス AOBA-C を利用する場合の事項をまとめたものです。以下と併せてご覧ください。

マニュアル一覧：<https://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/manual/>

→ AOBA-A,AOBA-B 共通

→ 「ジョブの実行方法」

以降「既存システム」は、既存の AOBA システム (AOBA-A、AOBA-B) を指します。

### 2. バッチリクエストの概要

AOBA-C のバッチリクエストの投入は、AOBA-C フロントエンドサーバで行います。実行に必要なプログラムとデータおよびジョブスクリプトは AOBA-C のストレージに準備する必要があります。既存システムからは投入できませんのでご注意ください。

バッチリクエストの実行の流れは既存システムと同じです。

### 3. キュー構成

AOBA-C のリクエストの投入先 (キュー) について説明します。

表 1 に、AOBA-C のキュー構成を示します。ジョブスクリプトで、投入キュー名、利用 VE 数/ノード数、最大経過時間を指定します。

表 1 クラウドサービス AOBA-C のキュー構成

| 利用形態 | キュー名 | VE 数  | 実行形態                     | 最大経過時間<br>既定値/最大値 | メモリサイズ    |
|------|------|-------|--------------------------|-------------------|-----------|
| 共有   | sxc  | 1     | 1VE<br>(VH を共用する)        | 72 時間/720 時間      | 48GB×VE 数 |
|      |      | 2~512 | 8VE 単位で確保<br>(VH を共用しない) |                   |           |
| 占有   | 個別設定 |       |                          |                   |           |

(VH : ベクトルホスト、VE : ベクトルエンジン)

既存システムと同様に、AOBA-C フロントエンドサーバ上での会話型での実行は、AOBA-C フロントエンドサーバに高い負荷がかかります。他の利用者への影響だけでなく、システム全体が正常に動作しなくなる恐れがあるため、行わないでください。負荷の高いプロセスは、管理者にて強制終了する場合があります。

#### 4. バッチリクエストの作成

既存システムと同じです。

ただし AOBA-C に限り、qsub コマンドのオプション「-m」を指定する場合は、必ず「-M」でメール送信先を指定してください。指定しない場合メールは送信されません。

#### 5. バッチリクエストの投入

#### 6. バッチリクエストの実行

#### 7. バッチリクエストの状態確認

#### 8. バッチリクエストのキャンセル

#### 9. バッチリクエストの終了

既存システムと同じです。

#### 10. マニュアル

既存システムと同じです。

#### 11. おわりに

本稿では、AOBA-C のバッチリクエストの投入と確認方法についてご紹介しました。センターの計算資源を効率的にご活用いただければ幸いです。ご不明な点、ご質問等ございましたら、お気軽にセンター（利用相談）までお問い合わせください。

利用相談：<https://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/consultation/>